BEST AVAILABLE COPY

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-192800

(43) Date of publication of application: 10.07.1992

(51)Int.Cl.

H04R 9/04 H04R 9/02

H04R 9/02

(21)Application number : 02-324349

(71)Applicant: SHARP CORP

(22)Date of filing:

26.11.1990

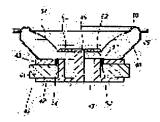
(72)Inventor: AOKI TOSHIHARU

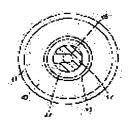
(54) ELECTROMECHANICAL CONVERTER

(57)Abstract:

PURPOSE: To permit a damper and a diaphragm to be attached in parallel with the center axis of the electric machine converter and to lower the height by providing a damper fixing projection at the center part of a pole piece, providing a through-hole at the part of the pole piece facing the damper and arranging the damper at the inside of a coil bobbin.

CONSTITUTION: A yoke 42 formed to be integrated with a pole piece 44 is formed on the under side of a doughnut—shaped magnet 41, and a magnetic circuit 45 and a magnetic gap g3 integrated with a top plate 43 are formed on the top side of the magnet 41. The center part of the pole piece 44 is formed with an integrated damper fixing projection part 46 so that the part is slightly protruded from the top plate 43. A through—hole 47 is provided at the position facing the damper of the pole piece 44 so that the hole aproximately surrounds the damper fixing projection part 46. The magnetic gap g3 is loosely wound with a voice coil 53 which is wound around a coil bobbin 52, the internal





terminaing part of a diaphragm 52 and the external terminating part of the damper 54 are fixed to the coil bobbin 52, and the internal terminating part of the damper 54 is fixed to the damper fixing projection part.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

THIS DACE OF ANK (USPTO)

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4-192800

®Int. Ci. 5

識別記号 B 庁内整理番号

@公開 平成 4年(1992) 7月10日

H 04 R 9/04 9/02 $\begin{smallmatrix}1&0&5\\1&0&2\\1&0&3\end{smallmatrix}$

8421-5H 8421-5H 8421-5H

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全5頁)

⑤発明の名称 電気機械変換器

頭 平2-324349 ②特

22出 願 平2(1990)11月26日

@発 明 者 木 嗇

俊 治 大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社

シャープ株式会社 ⑪出 願 人

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

個代 理 人 弁理士 梅 田 外2名

昭月

1. 発明の名称 **電気機械変換器**

2. 特許弱求の範囲

- 1. 少くとも、一部にポイスコイルを巻回したコ イルポピンと、マグネット、ポールピース及び その他の部材で構成する磁気回路と、ダンパー 及び振動板とを有する電気機械変換器において ポールピースの中央部にダンパー固定用突部を **設け、ダンパーの外周端部をコイルボビンに間** 着し、ダンパーの内周端部を肢ダンパー固定用 突部に固着し、ダンパーに対向するボールピー スの部分に貫通孔を設けたことを特徴とする電 **気機械変換器。**
- 2. ポールピースとダンパー固定用突部を一体に 形成したことを特徴とする請求項1配額の電気 极极变换器。
- 3. 発明の詳細を説明

<産業上の利用分野>

木発明は各種音響機器等に用いられる電気機械

変換器に関するものである。

<従来の技術>

従来の一般の電気機械変換器は、第3図に示す ように構成している。即ち、ドーナッ状のマグネ ット1の下面側にポールピース4を一体に形成し たヨーク 2 を、該マグネットの上面側にトッププ レート 8 をそれぞれ結合して磁気回路 5 を形成す る。該磁気回路を化はポールピースもとトップブ レート8亿より磁気ギャマプg1を形成する。該 トッププレート8の上面に同軸上にフレーム6を 結合し、該フレーム6内に外周線を固造したダン パー9と、駭フレーム6の外周緑にエッジ10を 介して振動板11の外周端部を装着する。一方、 上記磁気ギャップg1亿、コイルポピン8亿巻回 したポイスコイル?を遊挿し、該コイルポピン8 **に上記ダンパー9と振動板11の各内周端部とに** 固着する。酸コイルポピンを覆うように振動板 11に防塵ギャップ12を閲發して電気機械変換 器を附成する。

また、従来の他の電気機械変換器としでは、第

(2)

4 図に示すように構成している。即ち、円柱状のマグネット 2 1 の下面側にヨーク 2 2 を結合し、該ヨーク 2 2 の上面側にトッププレート 2 3 を結合して磁気回路 2 4 を構成する。該磁気回路 2 4 にはマグネット 2 2 とトッププレート 2 3 により 磁気ギャップ g 2 を構成する。該トッププレート 2 3 の上面に同軸上にフレーム 2 5 を結合し、該フレーム 2 5 の外周縁にエッジ 2 6 を介して扱動 板 2 7 の外周端部を装着する。

一方、マグネット21の上面には、グンパー受け合28を結合し、ダンパー29の内周端部を固着する。また、上記磁気ギャップ82内に、コイルボビン80に巻回したボイスコイル81を遊挿し、該コイルボビン80にグンパー29の外周端部と上記援動板27の内周端部とを固積し電気機械変換器を構成する。

<発明が解決しようとする課題>

第8図の上記電気微械変換器では、ダンパー9がトッププレート3と振動板11に快まれた構造となっているため、ダンパーが無い場合と比べて
(3)

電気機械変換器ではポールピース 4 、第 4 図の電 気機械変換器ではマグネット 2 1)が中実である ため、設コイルポピン内の空気が経煙密閉された 状態になり、振動板の大振幅時にはこれが負荷と なって低音域の再生を不利にする。

<課題を解決するための手段>

木発明は、上記従来の電気機械変換器の課題を解決するため、電気機械変換器において、ポールピースの中央部にダシパー固定用突部を設け、ダンパーの外周端部をコイルボビンに固着し、ダンパーの内周端部を該ダンパー固定用突部に固着し、ダンパーに対向するポールピースの部分に貫通孔を設けるものである。

更に、必要に応じてポールピースとダンパー固 定用突部を一体に形成するものである。

<作 用>

本発明の電気根核変換器では、ダンパーをコイルボビンの内側に配置しているため、ダンパーと 振動板とを電気根核変換器の中心軸に対して並列 に配設することができ、また該ダンパーに対向す ダンパー9自体の高さと該グンパー9と振動板 11の隙間分の空間が必要で、しかもこの空間は 電気機械変換器の高さを決定する他の部品と電気 機械変換器の中心軸に対し直列に配置されている ため、その空間分だけ電気機械変換器の高さが高 くなり、背の低い電気機械変換器の実現のために は非常に不利である。

また、第4図の上記電気機械変換器では、ダンパー29がコイルボビン30の内側に配置されているため、ダンパー29と振動板27とを電気機械変換器の中心軸に対し並列に配置することができる。しかし、ダンパー29をマグネット21に取り付けるためにダンパー受け台28を取り付ける工程が増え、作築性が悪化するうえ、該ダンパー受け台28の位置ずれによる組み立て精度が低下する恐れもある。

更に上記電気機械変換器の両者に共通の課題が ある。即ち、コイルポピン内側の部材(第8図の

(4)

るポールピースの部分に貫通孔を設けているため コイルポピン内の空気は援動板の大振幅時におい ても外部と自由に流通できる。

更にポールピースの中央部に設けるダンパー固定用突部を該ポールピースと一体に形成すれば、 突部の位置が部品の精度のみによって決まり位置 精度の向上が計れる。

<実施例>

以下、木発明の電気機械変換器の一実施例を、 第1図の断面図及び第2図の電気機械変換器の磁 気回路の平面図を用いて説明する。

第1図、第2図に示すように、ドーナッ状のマグネット41の下面側にポールピース44を一体に形成したヨーク42を、また該マグネット41の上面側にトッププレート43を結合して磁気回路45を形成する。該磁気回路45にはポールピース44とトッププレート43により磁気ギャップ83を形成する。該ポールピース44の中央部に、上配トッププレート43より多少突出する程度にグンパー固定用突部46を一体に形成して設

ける。また、肢ポールピース44のダンパー(後記)に対向する部分に、ダンパー固定用突部46のほぼ周囲に亘って貫通孔47を設ける。第2図の斜線で示す上記貫通孔47は単孔であるが、複数孔を設けることもできる。

上記トッププレート 4 8 の上面に同軸上にフレーム 4 8 を結合し、該フレーム 4 8 の外周線 4 9 にエッジ 5 0 を介して振動板 5 1 の外周端部を装着する。

上配磁気ギャップ g 3 化、コイルボビン 5 2 化 巻回したボイスコイル 5 8 を遊挿し、 酸コイルボ ビン 5 2 化上配援動板 5 1 の内 周端部と ダンパー 5 4 の外 周端部とを固着し、 彼ダンパー 5 4 の内 周端部は上配ダンパー 固定用突部に固着する。 従 ってコイルボビン 5 2 は振動板 5 1 と ダンパー 5 4 とによって保持され、 電気機械変換器を構成 する。

<発明の効果>

以上のように、木発明の電気機械変換器は、ダンパーをコイルポピンの内側に配置しているため

(7)

4.4…ボールピース、4.6…ダンパー固定用突部、4.7…貫通孔、5.1…振動板、5.2…コイルボビン、5.4…ダンパー。

代理人 弁理士 梅 田 膀(他2名)

グンパーと振動板とを斑気根板変換器の中心軸に 対し並列に配設することができ、 可気根板変換器 の高さを低く設計できるうえ、 グンパーに対向す るポールピースの部分に貫通孔を設けているため コイルポピン内の空気は振動板の大振幅時におい ても外部と自由に流通できるので越振動板に対し 負荷とならず、低音を再生するのに有利である。

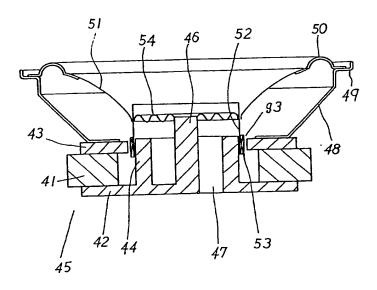
更に、ダンパー固定用突部とポールピースとを 一体に形成すれば、突部の位置が部品の精度のみ によって決まるため、位置制度の向上が計れるだ けでなく、組み立て工数の低減とそれに伴う信頼 性の向上が計れる。

従って、海型で低音再生することができ、信頼 性が高く組み立ての容易な電気機械変換器を突現 することができる。

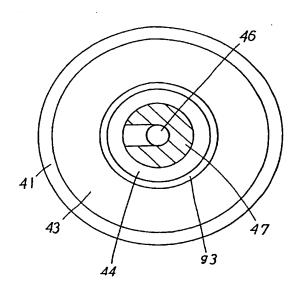
4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の電気機械変換器の一実施例を示す断面図、第2図は第1図における電気機械変換器の磁気回路の平面図、第3図及び第4図は従来の電気機械変換器の断面図である。

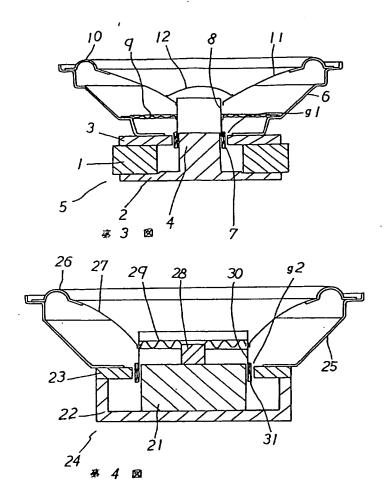
(8)







茅 2 図



WILL BACE RI ANK (USPTO)

- [11] Unexamined Japanese Utility Model Publication No: S57-109697
- [43] Date of Publication of Application: July 6, 1982
- [51] Int. Cl3.: H 04 R 9/02, 7/04, and 9/06
- [54] Title of the Device: Speaker
- 5 [21] Japanese Utility Model Application Number: S55-187380
 - [22] Date of Filing: December 24, 1980
 - [72] Deviser: Naoki Fujii
 - [71] Applicant: Matsushita Electric Industrial Co., Ltd.

10 [What is claimed is]

15

20

25

1. A flat speaker in which a voice coil is coupled to a speaker frame by a first damper, an outer periphery of a flat diaphragm positioned above the voice coil is coupled to the speaker frame by a second damper, and vibrations of the voice coil are transferred to a driving point of the flat diaphragm via a conical drive cone, wherein

a fixed part fixed to a center pole positioned inside of the voice coil at one end and extending into the conical drive cone at an other end is provided; and

the other end of the fixed part is coupled to an inner peripheral surface of the conical drive cone by a dumper having an annular corrugation formed thereon.

- 2. The speaker of claim 1 of the device, wherein the dumper is bonded to a mounting base that has a V-shaped section and is disposed on the inner peripheral surface of the conical drive cone so that a surface of the flat diaphragm is perpendicular to the voice coil.
 - 3. The speaker of claim 1 of the device, wherein the dumper is

THIS PACE BLANK (USPTO)

bonded to a dome-shaped annular body that is disposed on the inner peripheral surface of the conical drive cone.

[Brief Description of the Drawings]

5 Fig. 1 is a longitudinal section of a conventional flat speaker.

Fig. 2 is a longitudinal section of a flat speaker in accordance with an exemplary embodiment of the present device.

Figs. 3 and 4 are longitudinal sections of other exemplary embodiments of the present device.

. 10

[Reference Numerals]

- 1 Plate with center pole
- 1a Center pole
- 2 Ring-shaped magnet
- 15 3 Top plate
 - 4 Voice coil
 - 5 (First) dumper
 - 6 Speaker frame
 - 7 Conical drive cone
- 20 8 Flat diaphragm
 - 9 Edge (second dumper)
 - 11 Fixed part
 - 12', 12" Dumper
 - 13 Mounting base
- 25 14 Dome-shaped annular body

THIS PACE DI ARIL ""POTO)